

ALA YALSA Great Graphic Novels for Teens Top Ten に入った日本のマンガ

(YALSA: Young Adult Library Services Association)

2007 『DEATHNOTE (デスノート)』 (小畑健 大場つぐみ)

2008 『放課後保健室』 (水城せとな) 『エマ』 (森薫)

(この年のトップテンには『アライバル』 (ショーン・タン) が入っています。)

2009 『砂時計』 (芦原ひなこ) 『リアル』 (井上雄彦) 『うずまき』 (伊藤潤二)

2010 『海獣の子供』 (五十嵐大介) 『PLUTO (プルートウ)』 (浦沢直樹)

『大奥』 (よしながふみ)

2011 『土星マンション』 (岩岡ヒサエ)

2012 『乙嫁語り』 (森薫) 『放浪息子』 (志村貴子)

2013 『星守る犬』 (村上たかし)

2014 『ストロボ・エッジ』 (咲坂伊緒)

2015 『おおかみこどもの雨と雪』 (優 細田守)

2016 『聲の形』 (大今良時)

2017 『orange』 (高野莓)

(トップテンに入っているノンフィクションの作品は「March」と「Filmish:

A Graphic Journey Through Film」の2作品。「March」はアメリカ公民権運動の指導者ジョン・ルイス議員の回想録、「Filmish: A Graphic Journey Through Film」は、マンガによる映画史。)

2018 『弟の夫』 (田亀源五郎)

2019 『弟の夫』 (田亀源五郎) 『銀の匙』 (荒川弘)

2020 『とんがり帽子のアトリエ』 (白浜鴎)

2021 『青のフラッグ』 (KAITO)

2022 『あさドラ』 (浦沢直樹) 『ボーイズ・ラン・ザ・ライオット』 (学慶人)

(トップテンに韓国マンガの『俺だけレベルアップな件』 (Chugong Dubu)

が入っています。日本語版は反日表現を除いて、設定を日本にしています。)

2023 『葬送のフリーレン』 (山田鐘人 アベツカサ)

『僕らの色彩』 (田亀源五郎)

2024 『君は放課後インソムニア』 (オシロマコト)